

医療システム部会 全体活動報告

目次

・体制	・・・	2
・電子カルテ委員会	・・・	10
・検査システム委員会	・・・	13
・部門システム委員会	・・・	16
・セキュリティ委員会	・・・	20
・相互運用性委員会	・・・	23

2023年2月20日
医療システム部会
副部会長 真壁 光男

体制

医療システム部会

- SS-MIX2仕様策定TF
- 電子処方せん実装ガイド策定TF

電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
- 患者安全ガイド輸血編WG
- ・ePath実装ガイド策定WG

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
- 臨床検査データ交換規約改定WG
- 外注検査データ交換ガイド作成WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

部門システム委員会

- リハビリ計画検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
- 看護情報WG
- ・物流システム専門委員会

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

相互運用性委員会

- ・メッセージ交換専門委員会
- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- HL7翻訳合同WG
- IHE WG
- ・データ互換性専門委員会

横串機能

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	部会長	桑原 裕哉	富士通Japan(株)
〃	副部会長	真壁 光男	日本電気(株)
〃	副部会長	湯澤 史佳	キャノンメディカルシステムズ(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
-SS-MIX2仕様策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-電子処方箋実装ガイド策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
電子カルテ委員会	委員長	岡田 靖士	日本電気(株)
〃	副委員長	新垣 淑仁	日本電気(株)
〃	副委員長	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス
〃	副委員長	太田 聡司	富士通Japan(株)
・患者安全ガイド専門委員会	専門委員長	坂西 裕	富士通Japan(株)
-患者安全ガイド輸血編WG	リーダー	坂西 裕	富士通Japan(株)
・ePath実装ガイド策定WG	リーダー	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
検査システム委員会	委員長	山岡 弘明	富士通Japan(株)
//	副委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
//	副委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
//	副委員長	打保 昭典	アイテック阪急阪神(株)
- 放射線治療WG	リーダー	今井 高文	富士フイルム医療ソリューションズ(株)
- 検査レポート検討WG	リーダー	越後 洋一	日本光電工業(株)
- DICOM WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)
//	サブリーダー	立石 貴代子	大日本印刷(株)
・臨床検査システム専門委員会	専門委員長	打保 昭典	アイテック阪急阪神(株)
- 臨床検査データ交換規約改定WG	リーダー	千葉 信行	(株)エイアンドティー
- 外注検査データ交換ガイド作成WG	リーダー	川田 剛	(株)NTTデータ
・内視鏡部門システム専門委員会	専門委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
・病理・臨床細胞部門システム専門委員会	専門委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
//	副専門委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
部門システム委員会	委員長	金子 正和	富士通Japan(株)
〃	副委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
〃	副委員長	木戸 須美子	キャノンメディカルシステムズ(株)
-リハビリ計画書検討WG	リーダー	金子 正和	富士通Japan(株)
・病棟業務支援システム専門委員会	専門委員長	木戸 須美子	キャノンメディカルシステムズ(株)
〃	副専門委員長	安藤 智昭	(株)ケアコム
-看護情報WG	リーダー	汐崎 弘子	日本電気(株)
・物流システム専門委員会	専門委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
〃	副専門委員長	後藤 孝周	PHC(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
セキュリティ委員会	委員長	茗原 秀幸	三菱電機(株)
〃	副委員長	梶山 孝治	富士フイルムヘルスケア(株)
〃	副委員長	近藤 誠	日本電気(株)
〃	副委員長	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-電子保存WG	リーダー	近藤 誠	日本電気(株)
-監査証跡WG	リーダー	西田 慎一郎	(株)島津製作所
-HPKI電子署名規格作成WG	リーダー	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG	リーダー	松本 義和	サイバートラスト(株)
-セキュアトークンWG	リーダー	谷内田 利義	(株)リコー
-シングルサインオンWG	リーダー	山岡 弘明	富士通Japan(株)
-JAHIS-JIRA合同開示説明書WG	リーダー	下野 兼揮	(株)グッドマン
-教育事業WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
相互運用性委員会	委員長	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
//	副委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)
・メッセージ交換専門委員会	専門委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副専門委員長	平井 正明	日本光電工業(株)
-HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG	リーダー	窪田 成重	富士通Japan(株)
-HIS-RISメッセージ交換標準化WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
-病名情報メッセージ交換標準化WG	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-生理検査メッセージ交換標準化WG	リーダー	村松 和彦	日本光電工業(株)
-注射処置標準化WG	リーダー	西岡 太郎	日本電気(株)
-データ交換規約共通編作成WG	リーダー	中田 英男	日本電気(株)
-HL7翻訳合同WG	リーダー	檀原 一之	日本電気(株)
-IHE WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
・データ互換性専門委員会	専門委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	運営幹事	山内 俊幸	富士通Japan(株)
〃	事務局	岩本 和則	JAHIS
〃	事務局	谷口 浩一	JAHIS

電子カルテ委員会

- 患者安全ガイド専門委員会
 - 患者安全ガイド輸血編WG
- ePath実装ガイド策定WG

(1) JAHIS標準類の策定

- ① JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.1
日本輸血・細胞治療学会と連携し作成を実施。
2022年7月にJAHIS技術文書として改版。
- ② JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)Ver.1.0
2022年9月JAHIS技術文書としての制定。

(2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・ 2021年11月にJAMI標準となったePathメッセージについて、**ePath実装ガイド策定WG**を創設し実装ガイド等の**JAHIS技術文書の制定に向けた対応を開始**。技術文書の作成にあたっては医療情報学会／クリニカルパス学会と連携して進めた。

(3) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

- ・ 外部団体との研究等への参加
 - 透析情報標準の策定に向け**透析情報標準開発技術仕様WG**への参加、
 - **リアルワールドデータ研究利活用基盤整備**にかかる検討会への参加
 - **オンライン治験信頼性確保**に係る調査・ガイダンス作成事業「ITプラットフォーム」検討委員会への参加 等
- ・ 関連機関からのヒアリングへの対応
 - **四次元医療改革研究会、電子カルテ標準化、予防接種、診断書の電子化** 等
- ・ 関連機関からのヒアリング調整依頼への対応

(1) JAHIS標準類の策定と各学会との連携

- ・ JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド<内服外用編>、患者安全ガイド<注射編>の改定に向けて検討を開始する。
- ・ 日本輸血細胞治療学会との連携継続
- ・ 第25回医療マネジメント学会学術総会のシンポジウムにて発表

(2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・ 2021年11月にJAMI標準となったePathメッセージについて2022年度に立ち上げたePath実装ガイド策定WGにて実装するためのポイントを整理した実装ガイド等のJAHIS技術文書の制定を行う。技術文書の作成にあたり医療情報学会／クリニカルパス学会と連携した対応を進める。

(3) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

・データヘルス集中改革プランへの対応

- ・ 医療情報を患者や全国の医療機関等で確認できる仕組み(ACTION1)については来年度に予定されている情報の拡充、電子処方箋の仕組み(ACTION2)については今年度の運用開始および来年度の安定運用に向けて、それぞれが円滑に医療機関に導入され普及していくように、JAHIS他部門や関連団体と連携して意見具申を行う。

・電子カルテ情報の標準化に向けた検討

- ・ 電子カルテ情報の標準化及び全国医療情報共有プラットフォームの実現に向けて、厚生労働省を含めた関連各所との議論を通し、現状で対応できることや課題の整理と見解の作成、そして電子カルテおよびその周辺システムとしてに実装すべき機能について検討を行い、意見具申を行う。

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
 - 臨床検査データ交換規約 改定WG
 - 外注検査データ交換ガイド作成WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約 Ver.2.1C」 **制定(相互運用性委員会と連名)**
- 「JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C」 **制定(相互運用性委員会と連名)**
 - 上記2文書は「JAHISデータ交換規約(共通編) Ver.1.3」に準拠・整合性確保を実施
- 「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」 **制定**
 - 「JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0」に準拠
- 「JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約 Ver.4.0」 **制定**
 - 「DICOM Standard 2022a」に準拠・整合性確保

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

- **IHE-PaLM、IHE-Endoscopy**のWeb会議参加、情報展開。
- **DICOM Standard Committee、WG-13(Visible Light)、WG-26(Pathology)**への参画。
国際標準化委員会と連携し、4件79項目のCPack、4件のSupplementの国際投票を実施。
- 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照する「JED用語集」のLOINCコード取得に向けた原案作成を実施。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- **JAHIS教育事業(セミナー)「医療情報システム入門コース」**の検査システム章に関する教材作成、講師を担当
- **JAHIS教育事業(書籍)「医療情報システム入門2023」**の検査システム(7章)の執筆担当

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

部門システム委員会

- リハビリ計画書検討WG
- 病棟業務支援システム専門委員会
- 看護情報WG
- 物流システム専門委員会

(1)部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ①部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ②教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2)病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ① JAHIS看護データセット適用ガイドの強化
 - 看護領域の相互運用性向上を目的に、ターゲットを“患者状態”として検討を進め、特性を定義することができた。2023年度はJAHIS技術文書の改訂を計画する。
- ② MEDIS-DC看護実践用語標準マスタの改善に関する検討と提言
- ③記録の自動化に関する検討
- ④各種団体との協力による活動の推進
 - ・日本医療情報学会看護部会(JAMI-NI)への委員派遣(幹事として派遣)
 - ・日本看護協会との意見交換会

(3)物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①「HIS向け医療材料マスターの提供ガイド」の改版
- ②「HIS向け医療材料EDI標準ガイド(仮)」の策定
 - ・医療材料の病院～卸間の電子取引の標準化資料作成中
- ③院内物流の新ICT適用モデル考察
 - ・専門委員・オブザーバ・業界団体からの情報収集を行い、RFIDなどの標準化・ICTモデルについて検討を実施

(4)リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ① リハビリ計画書連携の標準化推進
 - ・介護システム委員会と連携し、厚労省__科学的介護情報システム「LIFE」に関する情報共有を実施
- ②リハビリシステム業務の標準化推進

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
- ・各種団体との協力による活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化及の推進

- ・「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定・普及促進
- ・「医療材料EDI標準化ガイド(仮称)」の策定
- ・物流システムの先進的な内容の研究

(4) リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同
リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対応し、「JAHISリモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.1a」、「JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.4」、「JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0a」を発行した。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・18-006JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0においてFHIRにおいて推奨されているJSON用の長期署名フォーマットを追加する改定を実施中。それを受け23/1開催のISO/T215札幌会議においてISO17090-4(HPKI電子署名)の改定の承認を得た。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・クラウド対応を強化するため「JAHIS製造業者サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書ガイドVer.4.1」の改定作業を実施し原案策定を行った。
- ・HL7FHIR対応を受け「JAHIS シングルサインオンにおけるセキュリティガイドライン Ver.2.1」の改定業を実施し、最終原案審査中。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、標準化セミナーやMDS/SDS書き方講座などを開催した。
- ・「JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.4.0」がHELICS指針として採択された。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・総務省・経済産業省の「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」の改定に向けた有識者委員会」に委員派遣を実施した。
- ・厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の改定作業などに協力した。
- ・厚生労働省の「第12回健康・医療・介護情報利活用検討会医療等情報利活用ワーキンググループ」において「サイバーセキュリティ対応活動報告」としてJAHISの活動を報告した。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、**JAHIS標準類のタイムリーな追隨、改定**を実施する。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・**18-006JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0**についてFHIRにおいて推奨されているJSON用の長期署名フォーマットを追加する改定を完了させる。その成果を、改定作業が始まった**ISO17090-4(HPKI電子署名)**に反映する活動を実施する。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・**HPKIを用いた電子署名やシングルサインオン、MDS/SDSなどクラウド環境**における利用を想定した改定や解説書、Q&A、テンプレート提供などを実施する。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、**標準化セミナーや解説講座**などを継続的に開催する。また、JIRAセキュリティ委員会と協力し、**JAHIS/JIRA合同セミナー**等の開催を企画する。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・国などの**検討委員会に対する委員派遣**ならびに**ガイドライン改定などに対する素案作成**、JAHISのセキュリティ活動の報告などJAHISとしての意見具申を実施する。

相互運用性委員会

メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- HL7翻訳合同WG
- IHE WG

データ互換性専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定

① データ交換規約(共通編) Ver.1.3

適合性宣言書に基づく適合性の採用、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、被保険者証の枝番への対応、各種障害の重症度表現への対応、などを行い、2022年4月にJAHIS標準として制定済

② 放射線データ交換規約 Ver.3.2C

③ 内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C

④ 生理データ交換規約 Ver.3.1C

制定後3年を経過したため、データ交換規約(共通編)Ver.1.3への対応、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、などを行い、2022年4月にJAHIS標準として制定済

～ 策定作業中のJAHIS標準類 ～

⑤ 注射データ交換規約 Ver.2.2C

(2) 実装システムの検証

① 「JAHISデータ互換性実証実験2023」の開催準備

- 今年度は参加予定ベンダが少なかったため、来年度に向けた準備のみ実施
- 実施テーマ:(1)患者情報(基本) (2)診療情報提供書
- トピック:
 - (1) **JP Core**に基づくPatientリソースのエクスポート・インポート
 - (2) **診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様**に基づくBundleリソースのエクスポート

(3) 標準化の普及推進

- HL7 FHIR日本実装検討WG、口腔診査情報標準コード仕様メンテナンス委員会、ヘルス&ケアのマネジメントにおけるプロセスとデータのモデル委員会、等への委員派遣
- HELICSチュートリアル:「JAHISデータ互換性実証実験」の講演(11/17)
- 第42回医療情報学連合大会:共同企画2「運用直前 電子処方箋をめぐる諸課題を考える」の共同座長(11/18)
- 10年連続となる「薬剤に関する医療情報セミナー」の開催(1/30)
- 新たに発足したIHE WGから**RSNA、IHE国際会議、DICOM DSC**の視察(11月末)

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通的な課題に取り組む。(オーダ付帯情報の共通化)
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行う。
(処方データ、病名情報)
- 新たなテーマについて、HL7 FHIRなども活用した検討を行う。

(2) 実装システムの検証

- 過去16年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を再開し、HL7 FHIRベースのテーマ(診療情報提供書など)に取り組む。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大、HL7 FHIR対応も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。
- IHE WGでの情報共有や勉強会、RSNA、IHE国際会議等への参加を継続する。
- 次世代データ交換技術WG(仮)を発足し、HL7 FHIRをはじめとする次世代データ交換技術についての情報共有や意見交換を行う。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました